

■別添1_あすまちこおりやま(郡山市まちづくり基本指針)における基本指標推移

あすまちこおりやま(郡山市まちづくり基本指針)は2018年度スタートです。

凡例

当指針スタート時と比較し、現在値が「概ね好転している：↑」、「横ばいである：→」、「好転していない：↓」で表示

大綱	郡山市まちづくり基本指針の施策体系	基本指標	指標の説明	①初期値 (2017年度)	②現況値 (2019年度)	方向性
I 「産業・仕事の未来」	施策1 みんなが誇れる「郡山といえばこれ！」という産業があるまち	1 商品販売額	基本指針で掲げる「市民生活に寄り添った身近な商業が発展している」状態を示すアウトカム指標として本市の商業者の販売状況を示す指標	12,526億円	14,030億円	↑
		2 認定連携創業支援事業者の支援による創業・起業者数(累計)	基本指針で掲げる「市民一人ひとりのアイデアを具体化できる機会がある」状態を示すアウトカム指標として、様々な支援により創業・起業に結びついた件数を示す指標	64件	176件	↑
		3 農商工観連携により創出された商品等(累計)	農商工観連携により創出された商品等(累計)を示す指標	5品	9品	↑
	施策2 楽しくてやりがいのある満足できる仕事のあるまち	1 インターンシップマッチング件数	基本指針で掲げる「郡山で学んだ人、郡山で働きたい人が希望の仕事に就職できる」状態を示すアウトカム指標として、学生のインターンシップマッチング数を示す指標	77件	60件	→
		2 中小企業への人材育成支援企業数(累計)	基本指針で掲げる「新しい技術や社会の変化に対応できる人材育成が図られている」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として人材育成への関心の高さを示す指標	12社	39社	↑
	施策3 農林業が盛んで、市民の身近な産業となるまち	1 認定新規就農者数	基本指針で掲げる「若い農業従事者や後継者など、次の世代の担い手が増える」を示すアウトカム指標として、新規就農者を示す指標	15件	29経営体	↑
		2 農業法人数	農業法人数を示す指標	45法人	54法人	↑
		3 農業体験活動受入れ者数(延べ人数)	基本指針で掲げる「日常生活や学校などで地域の農林業に親しむ機会がたくさんある」を示すアウトカム指標として、体験活動の参加者数を示す指標を設定する(フラワープロジェクト、田舎体験事業、ふれあい体験農園、まるごと農業体験の合算)。	1,094人	957人	→
	II 「交流・観光の未来」	施策1 人が交流し、明るい声が聞こえるまち	1 外国人住民登録者数	基本指針で掲げる「住む人や訪れる人にとって魅力的な街並みと人の生活がある」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、外国出身者等の本市への満足度を示す指標	2,488人	3,001人
2 観光入込客数			基本指針で掲げる「住む人や訪れる人にとって魅力的な街並みと人の生活がある」状態を示すアウトカム指標として、本市の交流人口の状況を示す指標	4,586,625人	5,117,071人	↑
3 公民館利用者数			市内公民館の利用者数を示す指標	1,144,306人	902,270人	↓

あすまちこおりやま（郡山市まちづくり基本指針）は2018年度スタートです。

凡例 当指針スタート時と比較し、現在値が「概ね好転している：↑」、「横ばいである：→」、「好転していない：↓」で表示

大綱	郡山市まちづくり基本指針の施策体系	基本指標	指標の説明	①初期値 (2017年度)	②現況値 (2019年度)	方向性
Ⅱ「交流・観光の未来」	施策2 全国や世界に発信できる、自慢の地域資源があるまち	1 音楽・文化イベント参加者数	基本指針で掲げる「音楽のまちにふさわしい音にあふれたまちになる」状態を示すアウトカム指標として、官民協働で行うイベントの参加者数を把握することで「音楽・文化の活発なまち」を示す指標	154,750人	186,229人 (2018年度)	↑
		2 「開成館」「歴史資料館」入場者数	「開成館」「歴史資料館」入場者数を示す指標	13,648人	15,163人	↑
	施策3 たくさんの方が「また来たい」、「住んでみたい」と思えるまち	1 コンベンション経済波及効果	基本指針で掲げる「地域の産業等を生かした先進的なコンベンションが多く開催される」状態を示すアウトカム指標として、コンベンション開催による地域経済への影響を示す指標	約189億円	約164億円	↓
		2 インバウンド延べ宿泊者数	基本指針で掲げる「インバウンドにも対応した、市民やまちのおもてなしレベルが向上している」状態を示すアウトカム指標として、インバウンド宿泊による交流人口の拡大を示す指標	6,433人	13,356人	↑
Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」	施策1 人と人がつながり、みんなで子どもたちを育むまち	1 待機児童数	基本指針で掲げる「すべての人が安心して仕事と子育ての両立ができる」状態を示すアウトカム指標として、利用できていない人数を示す指標（4月1日時点）	64人	20人	↑
		2 認可保育施設整備数	郡山市内における認可保育施設数を示す指標	61施設	75施設	↑
	施策2 笑顔があふれ、未来への夢を育むまち	1 登下校中の事故件数	基本指針で掲げる「子どもたちが地域で安心して元気に遊ぶことができる」状態を示すアウトカム指標として、登下校中の事故件数を示す指標（1月1日時点）	37件	22件	↑
		2 放課後児童クラブ等のエリア充足率	基本指針で掲げる「放課後の子どもたちの安全な居場所が地域に十分ある」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として「放課後児童クラブ等の整備状況」を示す指標	75.9%	90.6%	↑
	施策3 一人ひとりの個性を伸ばし、すべての子どもが輝くまち	1 教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	小中学校における教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数を示す指標	6.3人/台	3.4人/台	↑
	施策4 学びたいことを楽しく学び地域で輝けるまち	1 地域を活かした教育環境パワーアップ事業延べ参加者数	基本指針で掲げる「子どもたちが地域への愛着や一体感を感じることができる」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、事業延べ参加者延べ人数を示す指標	34,784人	33,085人	→
		2 文化、歴史的施設見学延べ参加人数	基本指針で掲げる「子どもたちが地域への愛着や一体感を感じることができる」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、文化、歴史的施設見学延べ参加人数を示す指標	5,666人	5,727人	↑

あすまちこおりやま（郡山市まちづくり基本指針）は2018年度スタートです。

凡例 当指針スタート時と比較し、現在値が「概ね好転している：↑」、「横ばいである：→」、「好転していない：↓」で表示

大綱	郡山市まちづくり基本指針の施策体系	基本指標	指標の説明	①初期値 (2017年度)	②現況値 (2019年度)	方向性
IV 誰もが地域で輝く未来	施策1 市民生活に活気があり楽しく元気に暮らせるまち	1 市内のNPO法人数	基本指針で掲げる「一人ひとりの知識や経験、個性に応じた、多様な社会参加ができる」の状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、市内に主たる事務所が所在するNPO法人数である指標	155法人	150法人	→
		2 あさかの学園大学学生数	60歳以上のこおりやま広域圏住民を対象とする「あさかの学園大学」学生数を示す指標	451人	492人	↑
	施策2 好きなこと、得意なことを地域で学び生かせるまち	1 市民の文化・スポーツ活動団体参加者数	基本指針で掲げる「生涯を通じて、様々な音楽やスポーツを楽しめる環境がある」状態を示すアウトカム指標として、市民の文化・スポーツ活動団体参加者数を示す指標	75,606人	76,557人 (2018年度)	→
		2 地域学習事業の件数	基本指針で掲げる「自己実現を促す集まりがたくさんあり、お互いに学び教えあうことができる」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、学び合い学習の状況を示す指標	116件	109件	→
	施策3 市民が互いに支えあい、一人ぼっちにならないまち	1 認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会参加団体数	基本指針で掲げる「住み慣れたまちでずっと暮らすことができる」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、はいかひの可能性のある認知症高齢者を地域で見守る体制が構築されている状態を示す指標	100団体	111団体	↑
		2 民生委員の訪問・連絡活動件数	地域の見守り体制の状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、民生児童委員の訪問・連絡活動件数を示す指標	68,880件	71,950件	→
	施策4 誰もが健康で生きいきと暮らせるまち	1 65歳以上で要支援以上の認定を受けていない方の割合	基本指針で掲げる「健康づくりに必要な情報や活動が身近にあふれている」状態を示すアウトカム指標として、65歳以上で要支援以上の認定を受けていない方の状況を示す指標	82.02%	81.74%	→
		2 病院・診療所の病床数や医療従事者数など	基本指針で掲げる「多様なニーズに適切に応えられる地域医療が整っている」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、地域医療の充実度を示すひとつである指標(人口10万対医療施設従事医師数)	243.5人 (2016年度)	253.2人 (2018年度)	↑
	施策5 女性が元気で活躍できるまち	1 市の審議会等における女性委員登用率	基本指針で掲げる「女性リーダーを発掘、育成する体制がある」状態を示すアウトカム指標を補足する指標として、女性委員の登用状況を示す指標	29.30%	28.10%	→

あすまちこおりやま（郡山市まちづくり基本指針）は2018年度スタートです。

凡例 当指針スタート時と比較し、現在値が「概ね好転している：↑」、「横ばいである：→」、「好転していない：↓」で表示

大綱	郡山市まちづくり基本指針の施策体系	基本指標	指標の説明	①初期値 (2017年度)	②現況値 (2019年度)	方向性
V「暮らしやすいまちの未来」	施策1 環境にやさしく自然豊かな、住んでいてよかったなと思えるまち	1 1人1日あたりのごみ排出量	環境への負担を低減する観点から、ごみそのものを減らしていくことが必要であり、ごみ排出量の減量目標値を示す指標	1,134 g	1,110 g	→
		2 本市リサイクル率	ごみを再び資源として利用することは、新たな資源の浪費を防ぐと同時にごみの減量にもつながることから、分別収集の徹底とリサイクルの促進によりリサイクル率の指標	10.8%	10.2%	→
	施策2 誰もが安心して快適に暮らせるまち	1 市内交通事故件数	交通事故が減少し、市民が安心して生活できるまちを目指すアウトカム指標として交通安全の取り組み状況を示す指標（年単位）	1,190件	920件	↑
		2 セーフコミュニティの認知度	セーフコミュニティを知っている市民の割合を示す指標	12.10%	42.40%	↑
	施策3 すべての人が安心して円滑に移動できるまち	1 公共交通利用者数	○市内の主要駅である郡山駅の乗車人員（万人）/年：JRウェブサイト掲載（翌年度の夏頃掲載）による年度ごとの駅別の1日平均乗車人員数×365日 ○バス利用者数（万人）/年：郡山市内で運行している公共交通バス事業所（福島交通、会津バス）で集計している乗車人員数（翌年度の夏頃に集計完了）	鉄道： 659万人 バス： 489万人	鉄道： 639万人 バス： 431万人	↓
		2 市内交通事故件数（再掲）	交通事故が減少し、市民が安心して生活できるまちを目指すアウトカム指標として交通安全の取り組み状況を示す指標（年単位）	1,190件	920件	↑
	施策4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち	1 空き家率	基本指針で掲げる「中心市街地も周辺部もそれぞれ特色を生かして栄えている」状態を示すアウトカム指標として、豊かな住環境で快適に生活できる状態を示す指標	11.4%	14.4%	↓
		2 低未利用地率（市街化区域）	基本指針で掲げる「中心市街地も周辺部もそれぞれ特色を生かして栄えている」状態を示すアウトカム指標として、市街化区域の土地利用状況を示す指標	13.20%	10.50%	↑
横断的 取組	復興・創生の更なる推進	1 本市からの避難者数	基本指針で掲げる「復興・創生の更なる推進」状態を示すアウトカム指標として、本市からの避難者数を示す指標（4月1日時点）	4,247人	3,987人	↑
		2 除去土壌等の搬出割合	基本指針で掲げる「復興・創生の更なる推進」状態を示すアウトカム指標として、保管場所から搬出した除去土壌等の割合を示す指標	12.19%	59.83%	↑
基盤的 取組	行政経営の効率化(カイゼン、ICT・DG推進《スマート市役所》)セーフコミュニティ・強靱なまちづくり連携中枢都市圏構想の推進	1 経常収支比率	財政構造の弾力性を判断する指標。低ければ低いほど財政運営に弾力性がある。	90.60%	88.4%	→
		2 実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金の標準財政規模に対する比率	5.6%	4.3%	↑